

HO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
【編集】教区基推委広報部

2005.2 142号



別院本堂で厳修された法要

大震災総追悼法要を厳修

満堂で宮城さん！「いのち」の研修会

本願寺神戸別院では、阪神・淡路大震災から10年の節目ともなる1月17日も例年の通り午後1時半より「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」を厳修し、併せて2時半

より「いのち」を考える研修会を開催した。満堂となった本堂では震災で亡くなられた方々を偲び、300人以上の参拝者全員が正信偈をお勤めし、お焼香された。

法要後の井上博雄神戸別院輪番は挨拶の中で「毎年1月17日午前5時46分という時刻は、忘れようとしても忘れることのできない時間である

ります。65,000名を超える尊いいのちを奪い去った阪神・淡路大震災から早や10年を迎えました。また、昨秋には新潟県中越地震が起こり、年末にはスマトラ島沖地震よ

る津波被害が発生し、再び大震災の時を思い起こされました。自然の力の前には人間は脆くはかない存在であることを痛感させられたことであり



現代社会は「少子高齢化」が急速に進んでいる。特に子供の数が減少している事に、大きな危機感を持っている。◆ところで、昨年一年間に中絶件数が三十万を越えたという。また自殺者も三万人以上、その他殺人事件数が戦後最悪を迎えていると多くのマスコミ

本願寺神戸別院では、教区内外の各住職はじめ門信徒の皆さま、そして被災に遇われた同信・同朋の方々と共に大震災物故者総追悼法要を厳修しております。1・17を風化させたくないという思いから、震災で亡くなられた方の命日でもあるこの日を「いのちを考えるの日」として研修会を開催してまいりました。」と話した。

引き続き開催された「いのち」を考える研修会では、ご講師には昭和43年に日本初の肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」を創立され、現在も園長として活躍の宮城まり子氏をお迎えした。

宮城まり子さんと言えは、50歳以上の方は歌手・女優と答えるが、若い世代は「ねむの木」の先生とイメージする人が多いのでは。大きな拍手で舞台上に立たれた宮城さんは、お話の中でお歳を申されたようにご高齢で、実は当日お風邪をひかれておられたのですが、少し

引き続き開催された「いのち」を考える研修会では、ご講師には昭和43年に日本初の肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」を創立され、現在も園長として活躍の宮城まり子氏をお迎えした。

揖龍西組相談員 堀正昭

教区だより		2月・3月	
2月3日(木) 第2回連研のための研究会	ホール 10:00~	18日(金) 第3連区研修会	ホール 12:30~
4日(金) 第3回布教大会	ホール 10:00~	19日(土) まことの保育研修会	本堂他3階全室 10:00~
5日(土) 第一土曜仏教講座 講師:鹿田証道師	本堂 10:00~	20日(日) 単位仏社会長・寺院代表者研修会	ホール 10:30~
5日(土) 寺院子弟・YBA兵庫合同1泊研修会	出石・城崎 6日まで	21日(月) 常任企画委員会	2階会議室 13:30~
5日(土) 2004年度第3連区近畿ブロック門徒推進員研修協議会	津村別院 6日まで	25日(金) 連研履修者研修会	ホール 10:00~
7日(月) 第3連区青年布教使研修会布	大阪教区 8日まで	27日(日) 若婦人のつどい	ホール 10:30~
7日(月) 連続研修会「聴く・聞く・効く」阿部信幾師	本堂 16:00~	3月3日(木) 第2回基幹運動研修会	ホール 13:30~
8日(火) 少年連盟 指導者研修会	3階会議室 13:30~	5日(土) 第一土曜仏教講座 講師:笠幸子	本堂 13:30~
9日(水) 寺婦研修旅行	人吉別院 10日まで	5日(土) 第3連区仏徒連絡協議会	京都 6日まで
14日(月) 社推協・ピハール合同1泊研修会	愛生・光明園 15日まで	7日(月) 永代経法要	豊岡教室 7日まで
18日(金) ふじの里「もちつき」	ふじの里 10:30~	10日(木) 勸学寮真宗講座	ホール 11日まで
		25日(金) 第7回日校指導者連続研修会	3階会議室 14:30

敬 弔

<p>太田唯念(播磨中組西念寺住職) 11月23日、72歳で往生</p> <p>旭 正章(揖龍東組福正寺住職) 11月29日、67歳で往生</p> <p>姑射真諦(出石組専福寺住職) 12月17日、68歳で往生</p> <p>森本静恵(加古川組教照寺前坊守) 12月19日、79歳で往生</p> <p>葛野小まつ(阪神北組常忍寺前坊守) 12月23日、104歳で往生</p> <p>日下祐成(神戸湊組浄徳寺衆徒) 12月25日、93歳で往生</p>	<p>姑射チセ子(出石組専福寺前坊守) 12月27日、93歳で往生</p> <p>高坂省爾(神戸西組光瑞寺住職) 12月29日、70歳で往生</p> <p>久堀弘義(神戸湊組行願寺住職) 1月7日、83歳で往生</p> <p>柴田ひさえ(多紀組法誓寺前坊守) 1月11日、82歳で往生</p> <p>三輪みどり(赤穂北組法林寺前坊守) 1月11日、75歳で往生</p> <p>竹中昭英(神姫組専光寺前住職) 1月15日、78歳で往生</p>
--	--

誠寺▼長崎教区・佐世保組元海寺、佐世保組照光寺門信徒・仏教婦人会▼奈良教区・添下組西教寺、夢中組教善寺門徒中▼備後教区・世羅組法泉寺、中組融玄寺、沼隈西組福照坊仏教婦人会、備後教務所▼福井教区・足羽組、二乗組照量寺、一乗組佐々木正信、敦賀組岡野円輝▼福岡教区・田川組知恩寺、宗像組仏教婦人会▼北海道教区・十勝組上本週司

▼木原昭和、尾嶋誠、田中佐和子、忍関崇▼神戸別院・松井須美男、清水房子、濱田ひさ系、熊谷利子※本山「本願寺たすけあい募金」より17,209,124円の義援金が届けられた。

※本願寺神戸別院報恩講にて開催された「チャリティ・バザー」より154,000円、募金より16,286円が届けられた。

まことの保育研修会のご案内

啓蒙 慈光のもと益々ご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、兵庫教区保育連盟にて「第10回まことの保育研修会」を開催するにあたり、「ご縁…まことに照らされ、育ち合う世界を求めて」の連盟スローガンのもと、法話を聴聞させていただく布教大会を開催させていただき運びとなりました。

つきましては公私ご多用の折ではございますが、主旨をご理解いただき、連盟登録園のみならず是非もちろん、一般のみならずにもご参加いただきたくご案内申し上げます。

合 掌
兵庫教区保育連盟理事長 堀 正 昭

●期 日：2005(平成17)年2月19日(土) 午前10時30分~午後3時30分	●会 場：本願寺神戸別院 【神戸市中央区下山手通 8-1-1 Tel.078-341-5949】 ＜交通案内＞ 高速神戸線「花隈駅」西口より徒歩1分。 駐車場(地下)あり。
●参加費：1名 2,000円 (昼食代含む、当日受付にて)	●ご講師 野瀬善隆師 足利孝之師 滋賀教区彦根組清徳寺 兵庫教区阪神東組安養寺 高島正鶴師 波多正宣師 兵庫教区揖龍東組照雲寺 兵庫教区阪神南組正光寺

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通8-1-1
Tel.078-341-5949 Fax.078-341-8526
e-mail hyogo@modan-t.or.jp

報恩講子どもの集い

ハスキーなお声やその若々しいお考えは、生き生きとして少しも若い時とお変わりなく見えユーモアも交えて話された。

「神戸の地震直後のテレビ映像を見て、本当に悲しかった、私すぐに防衛庁長官に電話したの。そしたら長官には取り次いでくれなくて、その下の方でした。『なぜ神戸に助けにいかないの』って言ったら、『宮城さん、要請が無ければ自衛隊は出動出来ないんです』って言われたの。『じゃ、私が要請するわ』って言ったら『宮城さんではダメです』って言われたの、悔しかったわ。」と、すぐに行動に出られる宮城さんのエピソードもお聞きした。

この行動力が、誰も面倒見ないなら一人でも二人でも子供を預かるは、どの行動となっていたのでしょうか。また、ねむの木の子供達と接していられる宮城さんらしく「私ね、小さい時すごく可愛い子だったの、小さい男の子は可愛い女の子をいじめるの、だから私、小さい時よくいじめられたの...」。(参加者大きな笑い)：楽しい時間でした。

公演後の質疑では、質問された「門徒に「こちらにいらつしゃいよ」と演台に二人並ばれる場面や、とうとうみんなの要望で、ガード下の靴磨きを歌われる場面などもあった。宮城さんの人柄を通して参加者の心に温かい炎を灯した研修となりました。



いつまでもお若い宮城さん

平成十六年十二月二十五日、本願寺神戸別院において「震災支援 報恩講子ども集い」が開催された。阪神・淡路大震災の起こった平成七年度より復興支援と少年教化の一旦として開催され、今年で十回目となる。

少年連盟では「親子での礼拝の推進」を重点目標としてきたが、今年度の報恩講子ども集いでは、親の部を新たに設け、親子揃っての参加を呼びかけた。また、少年連盟主催というものの、仏教婦人会連盟をはじめ仏教青年連盟・門信徒連絡協議会・青年僧侶の会・仏教壮年連盟の教化団体と連絡を図り、株式会社派屋の協力のもとスタッフは68人になった。

子ども209人・大人96人の参加と、大変多くの方が神戸別院に集い、大いに賑わった。十時に受付、以降子ども達による式典のオリエンテーションをして、十一時に本堂に集まった。参加者全員による献灯(48の灯明)・献華・献香・献供、正信偈のおつとめをして、井上博雄輪番のご法話をいただいた。



みんなで正信偈をおつとめ

式典の後は、一階エントランス前の境内(銅像前)にて昼食をとった。例年通りのバイキング形式で、カレーライス・ヤキソバ・お餅つき・フランクフルト・おやつにはソースせんべい等、たくさんメニューに子ども達はおおはしゃぎしていた。一階ホールにビニールシートを張り、昼食会場としていたが、天気も良かったので青空のもと親子揃って境内地で食事を摂られていた。食べ終えた子ども達はずいぶん元気に遊び、いやお友達と元気に遊び、1時半からは親子別のプログラムとなった。

子ども集いの部では、「アトラクション」として龍谷大学宗育部の皆さんをお招きし、ゲームと「そこなし森のぼうけん」の人形劇をしていただいた。また、ビンゴゲーム大会では参加者全員に景品が当たるということもあって、大盛り上がりとなった。

親の部では、「金子みすゞの菩提寺」として有名な山口県遍照寺より倉本優善師を迎え、「縁々金子みすゞとほとけさま」の講題で法話をいただいた。「子どもが行きたい報恩講」と言ったからついてきたのですが、本当に良い縁でした」と神戸市内のお母さん。「機会が減多にないからねえ」と男性の方。

◆11月1日 教区勤式指導所 ◆2日 別院参拝、福井教区若狭組妙光寺 ◆4日 別院参拝、京都女子大学史学部同窓会/護持口数調整委員会/組長 ◆6日 第一土曜仏教講座、講師は参拝志納部長 藤井純恵師、講題は「仏さまのおすがた」/別院参拝、神明組覚正寺/教区仏教青年会1泊研修会(7日まで、別院にて)灘区にあるレインポハウス施設見学や職員と意見交換会、別院での念珠についての勉強会や編み方の講習、別院仏婦の定例法座のお聴聞 ◆7日 別院仏婦定例法座、講師は神姫組常徳寺・森川晋乗師/門徒推進連絡協議会第39回研修会

兵庫教区御同朋総結集一万人大会のちようど二週間後の平成十六年十一月七日(日)に兵庫教区門徒推進員連絡協議会第三十九回研修会を神崎組教願寺をお借りして開催しました。

ご講師には、神明組真宗寺の宮里哲秀師を迎え、「門徒推進員の原点について」というご講題でお話をいただきました、そのお話を受けて、六

台風23号・新潟中越地震

災害義援金報告

19(20日)第47回全国「同宗連」研修会が1泊二日で開催され、第一日目の会場となった神戸別院では講義と分散会にと、各教団からの代表者70が熱心に研修し、二日目は尼崎市での現地研修などが実施された。別院の開会式では佐々木兼俊・同宗連議長(高野山真言宗)が人権侵害、救済への取り組みとして「部落解放基本法」の制定に向けて20年の運動となるが、同宗連としても勝ち取るため各教団のさらなる推進や、狭山闘争の100万人署名なども呼びかけられた。次に神戸別院輪番が歓迎と同宗連への連帯と協力を表わした。引き続きの講義1では「部落の変容と部落解放運動の課題」と題して、ひょうぶ部落解放・人権研究所事務局長の前川修氏が、水平社宣言への宗教者としての課題や、部落差別と他の差別の違いについて持論を展開された。講義2では「震災10年を迎えた兵庫の被差別部落」と題して、部落解放同盟中央執行副委員長の岸田章子氏が、震災当時の苦勞や現在の状況などについて話された。その後分散会に移りその内容は二日目の全体会へと続いた。

11月21日より1月17日までの期間に左記の通り、台風23号・新潟中越地震の義援金として受付いたしました。

▼阪神東組 西善寺、称名寺、覺園寺、高木史雄、杉原茂、吉本美智子、福円寺、前田正子、安養寺仏教婦人会、福本たみ子、坂本敬子、奥田みゆき

婦人会、北摂組仏教婦人会、西方寺護持会、神明組・前田貞夫、松浦珪子、神明組仏教婦人会、中嶋定子、筒井愛子、真宗寺、徳願寺門徒一同

人會、称專寺仏教婦人会、宣光寺仏教婦人会、西福寺仏教婦人会、善照寺仏教婦人会、養福寺仏教婦人会、教泉寺(備後)

徳寺、明源寺、六粟組仏教壮年連盟、佐用組・久保俊文、山本五男、佐用組仏教婦人会、多紀組・北村昌康、萬福寺、畑岡俊城、氷上東組・鯉ノ内啓邦、永證寺、藤原はつ子(寺婦)・氷上西組・寺族婦人会、藤本宏融、光明寺、西本顕俊、氷上西組仏教婦人会、朝来組・小倉畑祐晃、養父組・寺族婦人会、安楽寺、西願寺、城崎組・城崎組仏教婦人会、西光寺、城崎組寺族婦人会、法眼寺、安芸教区・広陵組安楽寺、広陵西組光福寺仏教婦人会、佐伯東組品正寺最勝婦人会、品正寺、東広島組正隆寺仏教婦人会、石川教区・江南組、大阪教区・石川北組仏教婦人会、石川南組井元和彦、大島南組極楽寺、西成組順照寺寺族婦人会、大阪教区サンガ基金、北豊教区・門司組仏教婦人会、熊本教区・熊本組覚法寺、滋賀教区・

11月21日より1月17日までの期間に左記の通り、台風23号・新潟中越地震の義援金として受付いたしました。

▼淡路組 門徒推進連絡協議会、梅林雅道、播磨東組・寺族婦人会、橋田恵三、西本美佐男、播磨東組基推委、播磨中組 竹中町子、福照寺、福照寺仏教婦人会、中谷幸子、前田幸雄、真楽寺、最照寺、西教寺、福恵寺、教覚寺住職門徒婦人会、教福寺門徒中、光福寺、光福寺仏教婦人会、浄福寺仏教婦人会、浄福寺門徒一同、善稱寺仏婦会、光專寺仏教婦人会、願正寺門徒中仏教婦人会、多可組・西教寺、加古川組・南宗寺、栢田和子、松上キヨ、原田さみゑ、妙正寺、称專寺、木村栄美子、信光寺仏教婦人会、報恩寺仏教婦人会、明福寺仏教婦人会、正願寺仏教婦人会、普光寺仏教婦人会、本光寺仏教婦人会、教泉寺仏教婦人会(国包)、照徳寺仏教婦人会、願生寺仏教婦

人會、称專寺仏教婦人会、宣光寺仏教婦人会、西福寺仏教婦人会、善照寺仏教婦人会、養福寺仏教婦人会、教泉寺(備後)

同、姫路中組 寺族婦人会、光徳寺、光蓮寺、善養寺仏教婦人会、姫路西組・光瑞寺、光瑞寺仏教婦人会、真宗寺、西光寺、網干組・浄泉寺、吉田久子、山田辰代、黒田恵美(他3名)、永念寺、揖龍西組光善寺、黒田節子、三木省三、浄教寺、古木菊代、梶本静子、大和孝子、揖龍西組仏教婦人会、名村晴樹、西園寺、揖龍東組・揖龍東組仏教婦人会、栗岡朋子、竹内豊子、揖龍東組・渡部文子、塚原美智代、小西玲子、重森昭、蓮生寺門徒一同、新宮組・新宮組仏教婦人会、潮音寺、西法寺、新宮組総代会、赤穂南組・永應寺、日曜学校、永應寺仏教壮年会、永友会、永應寺仏教婦人会、やすらぎ会、永應寺、宝尊寺、浄専寺、数内正一、赤穂南組門徒推進連絡協議会、専修寺、真光寺、真光寺仏教壮年会、真光寺仏教婦人会、村上建明、正覚寺門徒一同、丸尾国明、安養寺、妙道寺、浄念寺、赤穂北組・光専寺、高木実生、室井明夫、室井正美、中塚富男、慈眼寺、慈眼寺門徒会、赤穂北組仏教壮年連盟、榎本ユリコ、津田照、宮崎宮子、六粟組・大西耕雲、寺族婦人会、安楽寺、円

人會、称專寺仏教婦人会、宣光寺仏教婦人会、西福寺仏教婦人会、善照寺仏教婦人会、養福寺仏教婦人会、教泉寺(備後)

同、姫路中組 寺族婦人会、光徳寺、光蓮寺、善養寺仏教婦人会、姫路西組・光瑞寺、光瑞寺仏教婦人会、真宗寺、西光寺、網干組・浄泉寺、吉田久子、山田辰代、黒田恵美(他3名)、永念寺、揖龍西組光善寺、黒田節子、三木省三、浄教寺、古木菊代、梶本静子、大和孝子、揖龍西組仏教婦人会、名村晴樹、西園寺、揖龍東組・揖龍東組仏教婦人会、栗岡朋子、竹内豊子、揖龍東組・渡部文子、塚原美智代、小西玲子、重森昭、蓮生寺門徒一同、新宮組・新宮組仏教婦人会、潮音寺、西法寺、新宮組総代会、赤穂南組・永應寺、日曜学校、永應寺仏教壮年会、永友会、永應寺仏教婦人会、やすらぎ会、永應寺、宝尊寺、浄専寺、数内正一、赤穂南組門徒推進連絡協議会、専修寺、真光寺、真光寺仏教壮年会、真光寺仏教婦人会、村上建明、正覚寺門徒一同、丸尾国明、安養寺、妙道寺、浄念寺、赤穂北組・光専寺、高木実生、室井明夫、室井正美、中塚富男、慈眼寺、慈眼寺門徒会、赤穂北組仏教壮年連盟、榎本ユリコ、津田照、宮崎宮子、六粟組・大西耕雲、寺族婦人会、安楽寺、円

山口にて仏婦連盟研修



平和の子の像におりづるをささげる



山口別院にて

班に分かれて各々の意見を話し合い、また、その意見から打開策を練ってみたりと約一時間半に及ぶ分科会を開きました。それが、終わると各版の発表をし、最後にご講師のまとめで締めくくりました。また、今回は神崎組での開催ということで、神崎組を中心に姫路ブロックの方々が、準備から運営までをされたこともあり、滞りなく研修会を終えることができました。

◆8日別院参拝、福岡教区遠賀組行満寺 ◆9日別院参拝、大谷派第9組坊守

女性会 ◆12日青僧会役員会 ◆15日別院常例法座、講師は実粟組教専寺・大西宝雲師 講題は「相続のお念仏」 16日まで ◆17日「ビバーラ養」という講題で、基調講義からまとめの講義まで、お話をしていたいただきました。また、兵庫教区組長会より会長の森本信行師がお忙しい中お越しいただき、開会式にてご挨拶をいただきました。

一日目は、ご講師の基調講義、兵庫教区内の神戸東組・播磨東組・揖龍西組の三組から、各組における活動を発表していただいた後、ご講師の基調講義を受けて、また、日頃からの疑問、お寺との関わり方等の意見を話し合う六班に分かれての分科会を行い、各班の発表がありました。二日目は、朝から神戸別院の晨朝参拝からはじまり、全体会を行った後、ご講師にまとめの講義をしていただくという日程で行いました。

いつもは、各組単位で活動しておられる門徒総代の方々が、組の垣根を越えて、二泊二日という日程の中で、真剣に話し合い、また、教区単位での交流を持つという大変有意義な研修会でありました。

◆19日教区勸導指導所 ◆21日多可組浄福寺住職継職奉告法要、所長参列 ◆22日矯正、播磨学園研修会 ◆23日阪神東組西教寺落慶法要、所長列席 ◆25日少年、第5回日校指導者連続研修会 ◆27日本願寺神戸別院報恩講、講師は滋賀教区蒲生下組東光寺・守快信師、連夜布教終了後には仏教婦人会の皆さんが作ってくださいとお齋を参拝者とともにおいしくいただいた。また別院門徒・教区内寺院の皆様のご協力により、バザーも開催でき、売上金154,000を「台

風23号・新潟県中越地震義援金」に。期間中500人近いお参りがあつた。

◆12月1日布教団、布教使育成研修会 ◆3日近同推、五十周年記念大会、本山にて2日まで ◆4日第一土曜日 仏教講座、講師は淡路介護老人福祉施設ビバーラ施設長・野村康治師、講題は「いのちの記念日」/仏壮幹部1泊研修会、別院にて5日まで

十二月四から五日にかけて兵庫教区仏教壮年連盟の幹部1泊研修会が開催された。ご講師に本願寺派布教使で富山教区水橋組玉永寺住職石川了英師を向え「なぜ今、仏壮なのですか」現代の苦悩の中から題して全国仏教壮年会議発行の壮年教化のてびきシリーズ(二部百回)を資料に分科会形式でおこなわれた。分科会では各組、各寺での取り組みや現状などの情報交換が積極的になされた。そんな中で高齢化による改印の減少、核家族化が進み子や孫に引き継いでいくことの難しさが浮き彫りになった。僧侶の仏壮に対する理解と協力が不可欠ではあるものが、個々の仏社会員の意識も大切であり地域の生活に根ざした自主的な活動を見出し



班別での討論

ていかなければならないとの意見もあつた。参加者四十四名宿泊は神戸タワーサイドホテル。

◆8日仏青連絡協議会、顕道会館にて、今年度仏青全国大会(奈良)の決算報告など/兵庫教区仏教婦人会連盟研修旅行

昨年、十二月八日から十日にかけて兵庫教区仏教婦人会連盟が幹部研修旅行で「金子みすゞを訪ねて今いのちを深くみつめなおす」というテーマで広島山口を訪ねた。八日に広島別院に平和学習として被爆体験を真宗門徒の戸井貴三枝さんから聞かせていただいた。被爆した自分の姿を見て耐えられず何度も線路に横たわって自殺しようとしたが、その度に父母が何度も引き止め、生き抜いてほしいという願いによって生きていく決心がついた。それから苦しい

けれども人生がひらけたとお話をいただいた。参加者一同に戦争の悲惨さ、むごさを痛感すると共にその中で父母やいろいろな人と出逢いによってお育てに遇われた姿に感銘をうけた。その後広島平和記念資料館に向かい参加者で折った折り鶴を平和の子の像にささげた。翌日九日、山口別院に参拝し別院の沿革を聞かせていただき秋芳洞に行き。次に金子みすゞさんの故郷を現地案内人のお話を聞きながら探訪した。金子みすゞさんのお墓のある遍照寺で住職の倉本優善師にご法話をいただいた。金子みすゞさん詩を生み出した源流を感じさせていただいた。最終日萩市内を観光し帰路についた。

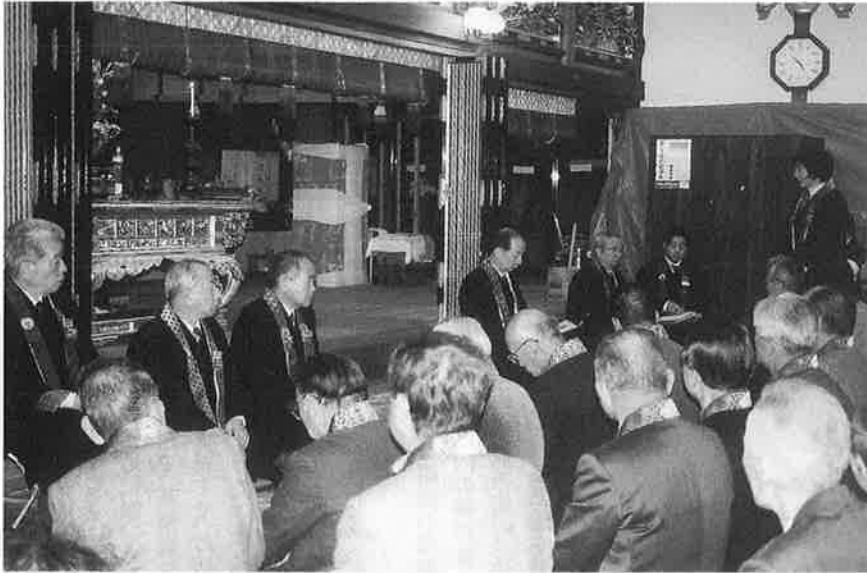
◆9日 総代会幹事会 ◆10日 日ビハラー第2回定例研修会、講師は福井教区ビハラー福井代表・一乗康純師、会員との意見交換や、福井のビハラー活動、社会福祉施設の紹介など、日ビハラー・社推協合同会議、2月14日開催の合同研修会について議論 ◆14日 別院参拝、安芸教区沼田組教雲寺 / 少年役員・スタッフ会 ◆15日 別院常例法座、講師は神明組光源寺・宮里俊哲師、講題は「平等の心と私の救い」

16日まで ◆17日 保育理事 随行長松原功人総務 井上博雄教務所長・山本宣昭教区会議長 森本信行組長 長豊原大成宗会議員 西脇修宗会議員・菅義成宗会議員などが同行し、台風23号で被害を受けた教区内寺院を見舞われた。特に被害の大きかった七カ寺(淡路組宣徳寺・朝来組勝賢寺、石出組極楽寺・善立寺、長専寺、城崎組善

ご門主様 被災寺院訪問

十二月二十二日、ご門主は

随行長松原功人総務 井上博雄教務所長・山本宣昭教区会議長 森本信行組長 長豊原大成宗会議員 西脇修宗会議員・菅義成宗会議員などが同行し、台風23号で被害を受けた教区内寺院を見舞われた。特に被害の大きかった七カ寺(淡路組宣徳寺・朝来組勝賢寺、石出組極楽寺・善立寺、長専寺、城崎組善



ご門主様長専寺ご訪問

教寺・豊岡教堂を見舞い、被害状況や現状・報告をうけ、「お念仏の生き方は、目の前にある悩みや苦しき、困難をその場で解決していくというわけにはなかなかいきませんが、阿弥陀さまの大きなお慈悲の中に生かされていくということから、どんなつらいことも悲しいことも押し押し込めてしまうのではなく、素直に気持ちを表す、言葉にし口に出していく中から、心を通わせることのできる人を見つけていく、共に語り合い助け合っていく道がひらかれていくのではないのでしょうか」などと、お見舞いと励ましのおことばをかけられた。

／青僧会連続研修会、講師は金光寿郎師／勸学寮真宗講座、21日まで / 門推幹事会 ◆21日 矯正研修会 ◆25日 報恩講子どもの集い / 仏青年忘れヤング広場、今年一年の活動報告、食事をしながら会員の交流を行った ◆31日 除夜会
◆1月1日 元旦会、午前七時より正信偈のおつとめと井上輪番の法話、引き続き参拝にこられた皆さんと新年の挨拶を交わし祝杯をいただいた ◆15日 別院
常例法座、講師は神戸湊組

元旦会厳修



参拝者と祝杯



委員長 風間栄子氏

教覚寺・別所法宣師、講題は「よろこびも悲しみも阿弥陀さまのみこころの中」16日まで ◆17日 阪神・淡路大震災物故者総追悼法要、引き続き「いのちを考える研修会」講師にはねむの木学園園長・宮城まり子氏 / 仏教婦人会連盟委員会
本年一月十七日に兵庫教区仏教婦人会連盟の委員総会終了後阪神淡路大震災十周年特別研修として、大震災経験した兵庫教区として昨年おこった新潟県中越地震の被害を受けた新潟教区よ
◆18日 災害対策委員会 ◆